

第4回尾張旭市総合計画審議会 会議録

1 開催日時

平成25年10月17日(木)

開会 午後1時15分

閉会 午後2時10分

2 開催場所

尾張旭市役所3階 講堂1

3 出席者

伊藤 雅一、加藤 義人、若杉 致由、若杉 恵、大塚 俊幸、石原 淳二、
服部 正勝、塚本 博之、松原 しず、西尾 末子、西塚 浩美、志村 美栄子、
高志 守彦、中山 正秋

4 欠席者

後藤 澄江

5 傍聴者数

0名

6 出席した事務局職員

企画部長 川原 芳久、企画課長 石坂 清二、企画課長補佐 山本 和男、
企画課主査 久野 善之、企画課主査 中川 暢頭

7 議題等

- (1) 会議録について
- (2) 答申について

8 議題等

企画部長	<p>本日は、大変お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。</p> <p>定刻になりましたので、ただ今から、尾張旭市総合計画審議会の第4回全体会を開催させていただきます。</p> <p>次第でございますように、前回ご審議いただきました答申について、後ほどご審議いただき、その上で、本日市長に答申を行う予定であります。</p> <p>開催に先立ちまして、9月末で当審議会の委員の職を離れられました教育委員会代表の細田委員の後任の委員として、教育委員会委員長の石原淳二委員にご出席いただいておりますので、一言、ごあいさつをいただきます。</p>
石原委員	<p>第3回の全体会を、所用により欠席しましたので、本日初めて出席させていただきますが、今後、皆さまとは様々な場でお会いすることになろうかと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
企画部長	<p>ありがとうございました。</p> <p>なお、本日は、後藤委員が所用により欠席されるとのことですので、ご報告させていただきます。</p> <p>それでは、会長、よろしく願いいたします。</p>

伊藤会長	<p>本日は、第4回全体会を召集いたしましたところ、ご多忙な中お集まりいただき誠にありがとうございます。</p> <p>企画部長のあいさつにもございましたが、本日、議事終了後に、市長に答申書をお渡ししたいと思っております。</p> <p>本日の会議につきましては、お手元に配布いたしております次第に従って進めさせていただきますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは早速、議事に入ります。</p>
伊藤会長	<p>まず、議事の(1)会議録について、審議します。</p> <p>会議録として、まとめ方・記述内容に、間違いは無いか、確認をお願いします。ご意見は、ございませんか。</p>
伊藤会長	<p>ご意見も無いようですので、原案どおり承認してよろしいですか。</p>
	<p>(「異議なし」の声あり)</p>
伊藤会長	<p>会議録につきましては、原案どおり承認します。</p>
伊藤会長	<p>次に、(2)答申について、審議します。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
企画課主査	<p>(答申 読み上げ)</p> <p>第3回全体会でお配りした答申について、各委員から意見をいただき、それを踏まえて、会長と答申の内容について整理を行いました。</p> <p>第3回全体会でお配りした答申からの変更箇所は、資料29の下線を引いた箇所になります。</p> <p>整理した後の答申を、事前に送付させていただき、ご確認いただきましたが、委員の皆さまからご意見等はいただいております。</p>
伊藤会長	<p>答申について、事務局から説明していただきました。</p> <p>第3回全体会においていただいた意見を整理しますと、全体会と専門部会の開催回数に関する記載を変更すること、人口増加をめざしたまちづくりに対する当審議会の評価を明確にすること、増加していく高齢者の参加を重視した記載にすることなどについて意見をいただいておりますので、これらを踏まえて案を作成しました。</p> <p>答申書について、ご意見はございませんか。</p>
西尾委員	<p>とても良くなったと思います。</p>
伊藤会長	<p>それでは、この案で答申させていただくということでよろしいでしょうか。</p>
	<p>(「異議なし」の声あり)</p>
伊藤会長	<p>この答申書で、答申いたしますので、事務局で準備をお願いいたします。</p>
	<p>午後1時25分休憩 午後1時40分再開</p>
伊藤会長	<p>それでは、会議を再開いたします。</p> <p>答申を行うにあたり、水野市長にご出席いただきました。</p> <p>ただいまから、私から市長に答申をいたします。</p>

	(伊藤会長から水野市長へ答申)
企画課長	市長からごあいさつ申し上げます。
水野市長	<p>審議会の皆さまには、長期間にわたりご審議をいただき、大変ありがとうございました。</p> <p>まず、お詫びをしなければならないのですが、これまでずっと審議に加わっていただいた教育委員会代表の細田委員が、もともとの職の任期によりまして交代ということになりました。また反対に石原委員には突然お越しいただいて答申という形になりまして、細田委員のままにできないかと伝えましたが、既に手遅れでして、申し訳ありませんが、最後だけ交代という形になってしまいました。大変申し訳なく思っております。</p> <p>7月3日に諮問させていただきました折には、まあこれでいいよというように考えていただくのではなく、忌憚のない意見を積極的にお願いしますということをお願いさせていただきました。</p> <p>詳細な内容を全て聞いた訳ではありませんが、大変活発な議論がなされたと事務局から聞いております。</p> <p>今後、最終的に案をまとめてまいります。反映すべきものは反映して、しっかりと皆さんのご意見を取り入れていきたいと思っております。</p> <p>ただ、1点、将来の都市像のところ、皆さんから特に活発なご意見が出たというように伺っております。実は、この審議会に諮問する前の段階で、庁内で審議した折にも、ここが一番時間のかかった部分でありまして、都市像を決めるために、このように多くの資料を見たり、線を引いたり、話を聞いたり、各市の都市像を全部並べてみたりというように、いろんなことをした中で、そもそも都市像とは何なのか、キャッチフレーズとは何が違うのかといったことも議論しながら、検討を進めてきたということもあります。</p> <p>中には、「みんなで支えあう」という言葉を入れることによって、市長が交代したらどうするのか、あるいは、せっかく今まで健康都市で進めてきたのに、なんで健康を入れないのかといったご意見もありました。</p> <p>考え方かと思うところはありますけれども、健康都市はこれまで総合計画とは、ある意味別枠で10年間取組みを進めてきましたし、当然これで終わりということでは無く、これからも続けていくということから入れる必要が無いのではないかというご意見と、さらに進めていくなら入れるべきだというご意見があるかと思いますが、先ほどの答申の中にも記載されておりましたが、今後人口が減っていくと言われている中で、増やすんだという攻めの姿勢の計画にしている関係で、やはり住んでみたくなるということが重要だろうと、その点、健康都市はベースになるものとして取り組んでいくという理解のもとで、この都市像に決めさせていただきたいと考えております。</p> <p>実は、市議会の皆さんからも大変なご意見をいただいた訳でありますけれども、やはり一つに決めていかなければならないということで、未だに納得がで</p>

	<p>きないというご意見をお持ちのかたもお見えになるかとは思いますが、ここはひとつご理解をいただきたいと思っております。</p> <p>これ以外のご意見につきましても、当然取捨選択しなければいけないものもあるかと思っておりますけれども、極力いただいた意見を尊重してまいりたいと思っております。</p> <p>いずれにしましても、先ほど答申書の中に「協働」という言葉も入れていただきました。みんなで支えあうが冒頭にある訳ですが、皆さんの協力なくして、この尾張旭はこの先進んでいかないということを、総合計画で示すのだと思っておりますので、今後とも皆さまがたには、各団体あるいは各地域のリーダーとして、市民を引っ張っていただく立場となっていただきまして、市政に引き続きご協力いただきますようお願い申しあげまして、私のあいさつとさせていただきます。</p> <p>本当に長い間ご審議いただき、ありがとうございました。</p>
伊藤会長	<p>本日をもって審議会を終了するということになりますので、私から感想を含めてごあいさつさせていただきたいと思っております。</p> <p>本年7月3日に第1回の総合計画審議会が開催されまして、この間、全体会、部会も含めると2週間に1度のペースで審議会を開催し、終始活発な議論をいただき、ありがとうございました。</p> <p>全体会、部会を通じまして、委員からいただいた意見は、238件になります。その内容については、本日お渡しした答申の本文あるいは添付資料の中で、全てが整理されています。</p> <p>その一つ一つが、委員各位さらには審議会としての想いが込められた意見だと思いますので、今後、市におかれては、総合計画を成案化する最終段階で、その一つ一つを踏まえて、より望ましい計画にしていだけるよう、よろしくお願いしたいと思います。</p> <p>内容的には色々なご意見がありまして、個々に私の方から意見を申し上げることはいたしません。今後、尾張旭市が総合計画を作って、どのようなまちづくりを進めていくのか、特に第6章のまちづくりの進め方の中に、市民と協働で進めますという考え方が、また、先ほどの市長のごあいさつの中でも、みんなで支えあうという表現の中に同じ想いが込められています。</p> <p>総合計画の性格上、なかなか具体的な表現が難しい部分もありますけれども、今後、総合計画の成案化、あるいは実施計画を作る際に、さらには事業を進める段階で、事業の進め方のイメージを市民と共有化出来ていないとなかなか協働は進まないと思っております。</p> <p>そういう意味で、具体的にまちづくりをどう進めるのかという部分の情報発信・情報共有をよろしくお願いしたいと思いますと考えております。</p> <p>大変簡単ではありますが、あいさつとさせていただきます。</p> <p>どうもありがとうございました。</p>

伊藤会長	<p>長期間にわたって開催された総合計画審議会も、これで終了となります。最後になりますが、これまで、ご参加いただいた感想や今後に期待することを、ご発言いただきたいと思います。</p>
志村委員	<p>日頃関わっている、教育相談の件で、一言お伝えします。</p> <p>今、中学校に上がった子どもから、勉強が分からなくなったという声を聞きます。学校の授業が分からないということは、生徒にとって大きな不安になると思います。分からない部分の理解を深めることは、子ども達にとって心の安心に繋がるものと考えています。</p> <p>今後の参考にしていただきたいと思い、お伝えしました。</p>
大塚委員	<p>策定した計画をこれからどのように実行していくのが重要になってきますが、まちづくりを進めていく上で重要なことは、ルールづくりと組織づくりではないかと思います。</p> <p>ただし、ルールや組織を作っても、それを動かす土壌が無いと、意味が無いと思います。</p> <p>尾張旭市は、パブリックコメントで数多くの意見をいただいております。他市では、まちづくりに想いがある人がいても、このような形で表現できる人は少ないと思います。</p> <p>そういう意味では、尾張旭市の市民の人たちは、参加意識のある人が多いように感じられ、このことは一番の市の財産ではないかと思います。</p> <p>これらの人たちが、まちづくりの場面で活躍できる場や機会を作っていくことが、これから求められると思います。</p>
加藤委員	<p>尾張旭市を外から見ておりますと、これまでは、名古屋市隣の小さなまちという印象を持っていましたが、この審議会において議論をしていく中で、良いところがいっぱいあると感じました。</p> <p>特に、市長や市内の大学の学長の顔が見られるということには大きな利点があると思います。小さなまちだからこそ、相談しあえる、顔が見えるまちづくりができるのだと思います。</p> <p>難度の高い目標を掲げましたので、これに向かってチャレンジablに取り組んでいただきたいと思います。まちは小さいけれども大きなことに取り組んでいるということが周辺に伝わるようにし、同時に情報発信を積極的にしていただきたいと思います。</p> <p>そういった取組みを進めることで、外から見た時に、尾張旭市の魅力や真の姿が見えてくると思いますので、多くのかたが入ってくる可能性があると思います。</p> <p>全国の市町で都市像が掲げられていますが、お題目になっているところも少なくありません。そうではないと感じられるまちに久しぶりに出会ったと感じております。</p> <p>チャレンジablに情報発信を行っていただきたいと思います。</p>

塚本委員	<p>名古屋市の東に位置するまちは、どこも同じようなまちづくりを進めているように感じますが、尾張旭市はこういったまちづくりを進めているという個性を出していただきたいと思います。</p> <p>また、これからは人づくりが大切であると想うので、行政や大学が共同して進めていただきたいと思います。</p> <p>自治会などの役員のなり手がおらず苦勞しています。また、人がいないため市も協力することが難しいという状況がありますので、人づくりを進めていただきたいと思います。</p>
高志委員	<p>市長が変わられて、尾張旭市は変わったという意見を良く聞きます。会社のトップも、市のトップも、人が変わると今までと違うと感じています。</p> <p>この総合計画は、縦の組織で分野横断的な事業に取り組んでいくものであり、難しいことだと思えます。</p> <p>市長のリーダーシップを発揮して、プロジェクトなどを進めていただくことで、良い市になるのではないかと思います。</p>
若杉（致）委員	<p>第四次まで総合計画は、法律で義務付けられたものでしたが、自治法の改正を受けて、今回は市独自の計画という考え方で、策定を進めているものになります。</p> <p>市内外への積極的な情報発信、特に具体的な事業についてどのように進めていくのかが記載されていない計画になりますので、市長のリーダーシップの元に、市がどのような目標を基に、どのような方向に進んでいくのかということを示していただくことで、市民が一体になるのではないかと思います。</p> <p>そのためには、魅力あるまちづくりと、都市のイメージが何より大切であると思えます。尾張東部の各市町が積極的にイメージアップを図っていますが、それに負けないような取組みを進めていただきたいと思います。</p> <p>このことが、これから人口減少時代を迎える中で、尾張旭市が生き残っていく道になるのではないかと思います。</p>
伊藤会長	<p>皆さんからの感想を踏まえまして、市長からコメントがありましたら、お願いします。</p>
水野市長	<p>いただいたご意見の全体に対して、感想を述べさせていただきます。</p> <p>今、大塚先生からポテンシャルの高いまちであるというお褒めの言葉をいただいたと思っておりますが、実は、私もそのように思っております。</p> <p>市長に対する意見も数多くいただきますし、パブリックコメントの件数も多い状況で、一通り目を通しましたが、色々な想いを抱いた人がいるのだなと感じており、これを何とか表に引き出すことが重要だと思っております。</p> <p>今回、都市像の中に「住みよい」と書かれておりますが、私の感覚としては、「住んでみたくなるまち」にしたいと思っております。</p> <p>人口が減っていくと言われている中で、増やしていくということを掲げるので、新しい人を入れていかなければ、当然、人口が減っていくことは間違いな</p>

	<p>い状況ですので、新しいかたが尾張旭市に住んでみたいとやらなくてははいけない、そのためには、まずは情報発信が大事だということで、計画期間より前にはなりますが、既に取り組みを始めております。</p> <p>最近、新聞を見るとよく尾張旭市の記事が載っているという言葉いただきます。皆さんなんだかんだ言って尾張旭市が好きなのだろうなと私は思っております、良い記事を見るところうれしい気持ちになることも、一つふるさと意識の醸成につながるのではないかと考えており、ずっと続けていかなければならないと考えており、第五次総合計画の施策の中にも盛り込んだ部分になります。</p> <p>また、住んでみてからの方がむしろ重要であり、参加してみたくなるまちが大事なことであり、全ての施策に参加していただくことは難しいと思っておりますが、多くのかたがそれぞれの得意なことなどで、参加してみたくなる仕掛けがこれまで少し足りなかったのではないかと考えておりますので、そうした中で、人づくりを進めていながら、担い手、そして後継者を育てつなげていくということが今後、この10年の中で一番重要な取り組みではないかと考えております。</p> <p>住民は好きな自治体を選んで住むことができ、また、受けるサービスは納税額によって差が出るものではないので、保育料を比べて安い方に行こうとか、医療費を比べて無料にしてもらえの方に行こうといった意識が働きます。</p> <p>しかし、そうした数字は比べれば、勝ち負けが出てしまう部分ですので、そういうところでの差別化というのは難しいですし、どこまで行ってもサービス合戦になってしまうと思っております。</p> <p>そうした中で、尾張旭市に住んでいる人たちは仲が良いとかあったかいとかいろいろなイベントにすごく協力しているといった雰囲気づくりは数字に表れない部分かと思っておりますので、そういった部分に力を入れていくことで、尾張旭市に住めば、自分も何か出来るのではないかと、そういう人たちが集っていただけるようなまちにしていきたいと感じております。</p> <p>そういった想いを込めて、都市像を決め、計画を策定してきましたので、皆さまがたも是非今後ともご協力いただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>また、長期間ご審議いただきましたことに対しまして心から御礼を申し上げます。一言感想を述べさせていただきました。</p> <p>ありがとうございました。</p>
伊藤会長	次第4のその他についてですが、事務局の方で、何かございますか。
企画課長	<p>皆さまに2点お伝えいたします。</p> <p>本日の会議録につきましては、作成後、各委員に送付し、内容の確認については、文書でのやりとりとさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、総合計画審議会委員の皆さまの任期でございますが、尾張旭市総合計</p>

	<p>画審議会規則の規定によりまして、答申をいただきました本日もちまして、満了となりますのでご承知置きいただきたいと思ひます。</p> <p>長い間、ありがとうございました。</p> <p>最後に企画部長から、一言お礼のごあいさつを申しあげます。</p>
企画部長	<p>委員の皆さまにおかれましては、長期間に渡りご審議をいただきましてありがとうございました。</p> <p>皆さまからいただきましたご意見を、十分に踏まえまして、総合計画の最終案を固め、12月市議会に提出いたします。</p> <p>計画は策定して終わるものではなく、進行管理を行い、まちづくりを進めてまいります。多くの取組みを進めるにあたっては、皆さまのご協力が必要であると考へておりますので、今後とも、お力添えをよろしくお願ひいたします。</p> <p>これまで、長い間、誠にありがとうございました。</p>
伊藤会長	<p>以上をもちまして、尾張旭市総合計画審議会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。</p>